

状況記録写真

| | |
|----|----|
| 区分 | 自主 |
|----|----|

森林技術センター

(様式6)



ほろ井区C カサツギ1号(17) H15.11/21



ほろ井区C

H15.11.21



ほろ井区C

H15.11/21

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

| | | | | | | | | |
|---|---|---------|----------|--|----------------|--------------|-----------|---|
| 課 題 | 17 国土保全林等における人工単層林を天然林へ誘導する技術の確立（更新） | | | | 開 発 期 間 | 平成8年度～平成23年度 | | |
| 開 発 箇 所 | 鱈頭国有林 76ち ₁ 林小班 | 担 当 部 署 | 森林技術センター | 共 同 研 究 関 機 | 技 術 開 発 目 標 | 1 | 特 定 区 域 内 | ○ |
| 開 発 目 的 (数 値 目 的) | スギ・ヒノキの単層林伐採跡地において、地かき、ぼう芽、天然下種及び種子の播種による早急な天然林へ誘導する更新技術を解明、人工単層林伐採跡地を天然林へ誘導する技術を確立する。 | | | | | | | |
| 年 度 別 実 施 報 告 | 16年度 実 施 報 告 | | | | 17年度 実 施 計 画 書 | | | |
| | 実 施 内 容 | | | | 普 及 指 導 | | 1 試験地管理 | |
| 平成8年度 ①試験地設定②播種及び地かき ③試験地調査④植生調査 平成9年度～平成15年度 ①植生調査 | 1 試験地調査 平成17年3月調査（野帳別途保管） 人工数：1. 250人 播種区で、アキ、シタモ、スミヂ、ムラサキフ、ヤマクラ、の 稚樹を確認した。 地掻き区で、ニトコ、スミヂ、クダ、ムラサキフの稚樹 を確認した。 ぼう芽区で、ヒカキ、イカシ、クダ、キハク、イゲリ、クダ、 ムラサキフ、アカツ、カキ、を確認した。 | | | 発生樹種が固定してきているので、課題目的の成 果をまとめる必要がある。 | | | | |
| 技術開発委員会における意見 | | | | | | | | |

- (注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標（九州森林管理局長通達）」の1～5のうち、該当する目標の番号を記入すること。
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

「国土保全林等における人工単層林を天然林に誘導する技術の確立（更新）」

写真1 地掻き区生育状況



写真2 播種区生育状況



写真3 ぼう芽区生育状況



写真4 播種区プロットC状況



技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

| | | | | | | | | | |
|---|--|---------|----------|-------------|----------------|---------------------------------------|--|-----------|---|
| 課 題 | 17 国土保全林等における人工単層林を天然林に誘導する技術の確立（更新） | | | | 開 発 期 間 | 平成8年度 ～ 平成23年度 変更期間 平成8年度 ～ 平成18年度 | | | |
| 開 発 箇 所 | 鱈頭国有林 76ち、林小班 | 担 当 部 署 | 森林技術センター | 共 同 研 究 関 機 | 技 術 開 発 目 標 | 1 | 特 定 区 域 内 | 特 定 区 域 外 | ○ |
| 開 発 目 的 (数 値 目 的) | スギ・ヒノキの単層林伐採跡地において、地かき、ぼう芽、天然下種及び種子の播種による早急な天然林へ誘導する更新技術を解明、人工単層林伐採跡地を天然林へ誘導する技術を確立する。 | | | | | | | | |
| 年 度 別 実 施 報 告 | 17年度 実 施 報 告 | | | | 18年度 実 施 計 画 書 | | | | |
| | 実 施 内 容 | | | | 普 及 指 導 | | | | |
| 平成8年度 ①試験地設定②播種及び地かき ③試験地調査④植生調査 平成9年度～平成16年度 ①植生調査 | 実施事項なし | | | | | | 1 植生調査 （各プロット（10m×10m）内・樹種・径級・樹高） 2 写真記録 3 データ分析 H18年度完了予定 | | |
| 技術開発委員会における意見 | | | | | | | | | |

- (注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標（九州森林管理局長通達）」の1～5のうち、該当する目標の番号を記入すること。
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

| | | | | | | | | |
|---|--|---------|----------|-------------|--|-----------------------------------|-----------|---|
| 課 題 | 17 国土保全林等における人工単層林を天然林に誘導する技術の確立（更新） | | | | 開 発 期 間 | 平成8年度～平成18年度 変更期間 平成8年度～平成19年度 | | |
| 開 発 箇 所 | 鱒頭国有林 76ち ₁ 林小班 | 担 当 部 署 | 森林技術センター | 共 同 研 究 関 機 | 技 術 開 発 標 目 | 1 | 特 定 区 域 内 | ○ |
| 開 発 目 的 (数 値 目 的) | スギ・ヒノキの単層林伐採跡地において、地かき、ぼう芽、天然下種及び種子の播種による早急な天然林へ誘導する更新技術を解明、人工単層林伐採跡地を天然林へ誘導する技術を確立する。 | | | | | | | |
| 年 度 別 実 施 報 告 | 18年度 実 施 報 告 | | | | 19年度 実 施 計 画 書 | | | |
| | 実 施 内 容 | | 普 及 指 導 | | 1 植生調査 (各プロット(10m×10m)内・樹種・径級・樹高) 2 試験地管理 3 写真記録 4 データ分析 H18年度完了課題・期間延長 | | | |
| 平成8年度 ①試験地設定②播種及び地かき ③試験地調査④植生調査 平成9年度～平成16年度 ①植生調査 | 実施事項なし 平成17年度台風による無頭子林道通行不可により調査未実施。平成19年度に調査・報告する。 | | | | | | | |
| 技術開発委員会における意見 | | | | | | | | |